

2026年3月18日  
NHK 広報局

## NHK の情報システム登録者へのメール誤送信について

3月17日(火)19時ごろ、NHK放送センター(東京都渋谷区)の情報システムの作業申請に関するシステムにおいて、送信グループ内の対象者全員のメールアドレスが確認できる状態で送信してしまいました。システム保守を担当する外部ベンダーの作業担当者が、承認依頼をするメールの送信先について、誤って本システムの登録者全員を対象として選択し、送信したことが原因です。

誤送信の対象となった登録者は、NHK職員・スタッフ、関連団体、外部関係者の32,940人です。メールはシステム上の処理で100名ずつのグループ単位で送信されており、それぞれの送信グループ内の100名が登録者どうしのメールアドレスが確認できる状態になっていました。現段階で不正利用などの二次被害は確認されていません。

### 【メール誤送信の対象者】

- NHK職員、スタッフのメールアドレス(15,199人)
  - NHK関連団体社員等のメールアドレス(9,188人)
  - 外部事業者のメールアドレス(8,553人)
- 合計 32,940人

本件が判明後、対象となる登録者全員に向けて本メールが誤って送信してしまったことをお詫びし、受信したメールを破棄していただくよう、お願いしました。

なお、本事案については、個人情報保護委員会に報告します。

今後は、こうした事案が発生しないよう、情報システムにおけるメール送信の仕組みについて改修します。また作業担当者に送信先を確認することの徹底について指導していきます。

### 【NHKコメント】

メール誤送信の対象となったみなさまに大変ご迷惑をおかけし、深くお詫びいたします。引き続き、システム改修を行うなど、二度とこのような事態を起こさないよう、対策を徹底してまいります。